

よらねわかた 小合

地域の人口動態

平成26年 9 月末現在	
世帯数	1,209 戸
男	1,892 名
女	2,006 名
人口	3,898 名

2014.11.16 第42号 小合地域コミュニティ協議会 発行責任者：四柳健二 編集：総務部



敬老会で演奏する
小合中フラスバンド部

「小合地区敬老会」開催

十月十二日、小合中「フラスバンド部」の演奏から敬老会がスタートしました。

小合地区に住む七十三歳以上の方を対象に、希望者により開催し、二百三十名の大勢の方から参加していただきました。

オープニングに参加の小合中の皆さん、ありがとうございます。
(関連記事4面に)

新連載：小合の歴史研究

第三回

仏教の禅宗(曹洞宗)の総本山(総持寺)の発展に尽くした

『伊藤道海』(いつどうかい) (二八七四～一九四〇)

私たちの住む小合の歴史を調べなおして偉大な業績や、ふるさとの誇り、宝物を再発見してみましよう。



【一】伊藤道海は明治七年五月中蒲原郡小梅村大字子成場、伊藤藤藏、チイ(梅ノ木土屋武助の三女)の三男として生まれた。(幼名は寅松)

当時生家はあまり裕福ではなく、末子であることから、幼少の頃、出戸にあるお寺洞泉寺にあずけられた。その後、洞泉寺と法類である古津の広大寺に移り、修行を積み、新潟市にある新潟県曹洞宗専門学校に入学し、家族から学資を受け勉強する約束であったがならず、その上生まれつき病弱で、無理な勉強がたたって肺肋膜炎を患って、死線をさまよった。しかし彼は、十歳の頃寺で聴いた新潟県曹洞宗僧侶、大道長安のお話(忍は徳、怒りは全ての福を無くす、ということ)により改心して、病に立ち向かい、奇跡的に死線を乗り越えた。又、自分で名を道海と改めた。そうして僧侶となった以上一度は曹洞宗の大本山(永平寺)へお参りしたい、三日でも四日でも、いや何年でも居てみたいという気持ちから、師匠や家族に懇願して、明治二十六年、

二十歳の春に越前の大本山に旅立った。

【二】旅立ちの前に弥彦参りをし、越前に向かう途中、天台笠を被った僧侶(羽後山人)に会い、「そんな簡単には、永平寺には入れてもらえない。おまえ、永平寺に行くのをやめて能登の『総持寺』へ行かないか。総持寺なら、わしが紹介してやる」と諭され、結局、総持寺に入った。この僧侶との出会いは、お弥彦様のお導きであったといわれている。

明治三十一年四月、能登の総持寺は火災にあい焼けてしまった。火災の際に、道海はわが身を捨てて幾度か猛火の中に飛び込み重宝や重要文書を搬出した。

この功績を認められ、上司から能登にあるヶ寺を与えられるが、これを断り「今は、お寺を持たせていただきたい」と曹洞宗の大学林(現、駒沢大学の前身)に入学を申し出て見事大学に入り、三十二歳で卒業した。その時、火事の対応の功績と

して山形県村山市の宝鏡寺の住職を命ぜられ、そこで七年間過ごして、宝鏡寺の格を上げることに努めた。

明治四十四年、三十八歳の十一月、総持寺が能登より横浜の鶴見に移転再建となり、道海は移転後初代の副寺(会計)を命ぜられた。

当時は、経済難の時代で、二方大本山総持寺再建の大切な時期であり、伽藍の造営工事には、副寺の抜群の力量手腕を必要としたが、この難局に対して立派にその職を果たした。

その後、二時、東北の寺に移ったが、又本山に戻り、本山を通して、様々な社会事業に尽くした。昭和十年五月、大本山総持寺に九世貫主となり、昭和十五年七月、六十七歳で没するまで務めた。

(注)貫主とは、寺の長である僧侶(総務部、YI)

【参考文献】
新津市誌(加藤朝雄氏、著)

シリーズ おらの地域紹介

小合に十四ある各自治会／各町内会から御協力をいただき、各地域を短く紹介して行きます。

地域紹介その⑨

「子成場」町内会

子成場あれこれ

子成場は信濃川の右岸の堤防沿いに、南北に伸びた地域と小合小学校付近の地域から成る戸数88戸の集落です。便宜上、南側を上、北側と小学校付近を下として

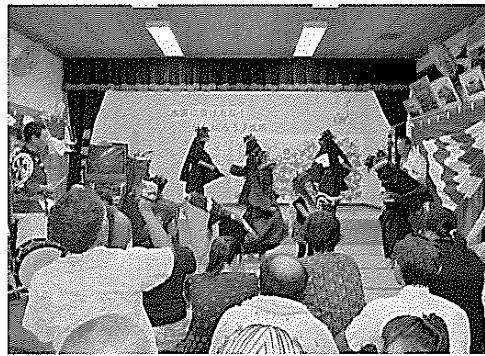
天正年間(豊臣秀吉の頃)に信濃の人で会津や村上の城主に仕えた武士が帰農し、この地を開発したという。昔、信濃川がたびたび氾濫したため、明治23年に堤防の改修がされて、村が現在の地に移転した。

鎮守様の北山神社は、伊冊冊尊(いざなみのみこと)を祀り、稲荷神社(祭神は宇迦之御魂神(うかのみたまのかみ))を合祀している。

春と秋の奉納祭りでは、宵宮

の早朝に全戸で「宮掃除」をして、鳥居のしめ縄と結界を新しく結ったものに交換する。秋祭が盛大で、夕暮れに「宮のほり」が厳かに執り行われた後、氏子会館で「直会」と「芸能大会」が催される。伝承芸能の「獅子舞」を始め何ヶ月も練習した踊りや演芸、自慢の歌が、手作りで飾った郷愁溢れる壁画のステージで、艶やかに披露され、舞台と客席が一体となって、和気藹々として雰囲気を出す。

本宮祭では、町内の各所で「獅子舞」が披露され、祭の提灯の光が影を落とす頃「子供花火大会」や景品付き「盆踊り大会」が開催され大勢の家族連れで楽しく賑わう。昔ながらの村祭りの風景がある。



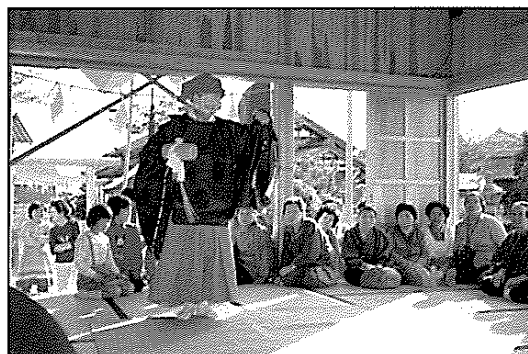
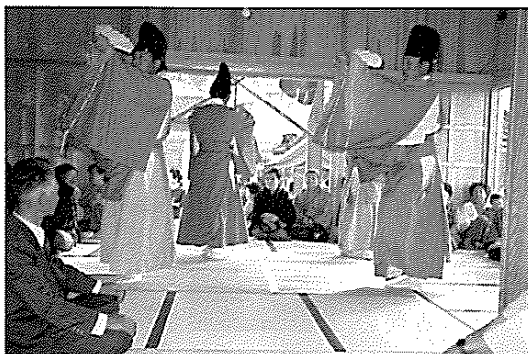
地域紹介その⑩

「小屋場」自治会

小屋場に伝わる伝統芸能

皆様は小屋場に『太夫の舞』という伝統芸能があるという事を御存じでしたでしょうか。私自身、幼少のころ舞っている姿をお宮で見た事を覚えているのですが、最近お祭りからも足が遠くなっています。

二年程前、偶然にも小屋場保存会の皆様が福島の大山祇神社(山の神様)で舞いを奉納する場に居合わせました。その時は思う存分舞いを堪能することができ、とても感慨深く帰途について事を思い出します。何よりも感謝したのは参拝客のあちこちから「この新津の方たちの舞を毎年楽しみにして来ているのです。」と言う声が上がっていた事でありました。保存会の皆様には頭が下がる思いで一杯でした。何分皆様の年齢的なこと、又後継者の育成のこと等を考えたら切ない事でありましょう。今後益々のご発展・ご活躍をお祈りいたします。小屋場の一住民として、どうか末永く周囲の方たちを感動させる舞を見せて頂きます様お願いいたします。



小合の子どもたち

特集 1
愛さつ運動の感想文

9月25、26日と29、30日に秋の挨拶運動「重点取り組み」が行われました。小合の小学生・中学生に、感想文を書いていただきましたので紹介いたします。

小合東小学校

あいさつについていな

1年 いなつき あい

あいさつをされると、むねがほかほかして、しいきもちになつてきます。

きまう、かまう、かまうのとき、しらなひひやう。

「おはようございます。」

とあいさつされました。わたしは、ちやうどほすかしかつたけれど、あいさつできました。そして、あつたかきもちになりました。

「いえでも、あさおきると、ま

いごち、

「おはよう。」

といます。おやうさんとあかあさんにいます。おじいちゃんとおばあちゃんにもいます。

あいさつをまいにちしているといつもしたくなります。

これからも、あさおきをいっばいして、いっばいしいきもちになりたいです。

いろいろなあいさつ

3年 村上 雅治

ぼくは、朝、お父さんやお母さん、地いきの人たち、友だちにもあいさつをしています。あいての人が、

「おはよう。」

と、かえしてくれると、うれしい気もちになるので、ぼくもみんなに気もちのよいあいさつをがんばりたいです。

でも、あいさつは、「おはよう。」「ただけはな」と思っています。うちに帰つた時の「ただいま。」や、遊びに行つた時の「しつれいします。」ねる前の「おやすみ。」などです。あいさつをするとか

なりすあい手が、「おかえり。」「いっしょいっしょ。」「お休み。」などと、かえしてくれれます。そうすると、ぼくは、すこくうれしいし、あんしんします。

これからも、みんなに、すすんであいさつをしていきたいなと思ひます。

小合小学校

あいさつうんどうをして

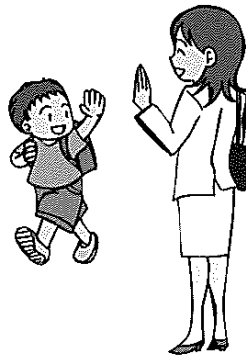
1年 みゆう ゆい

わたしは、きのうのあさ、えがおで、

「おはようございます。」

とあいさつをしました。そしたら、たつていたおじさんが、とてもわらわらして、わたしまで、えがおになりました。

こんどからも、もっとえがおで、あいさつをしたいです。



あいさつうんどうをして

1年 たむら みやび

わたしのめあては、じぶんからはつきりとあいさつをする、でした。うんどうのとき、じぶんからあいさつをしてよかったです。おもしろい。おきなぐえとあいさつをしたら、たつていひとがえししてくれ、たつてくれ、うれしかったです。とても、たのしいきもちになりました。

がんばったあいさつ運動

3年 丸山 莉奈

今週はあいさつ運動がありました。わたしが気をつけたことは三つあります。

一つ目は、大きな声であいさつすることです。された方も気持ちいいからです。

二つ目は、自分からあいさつをすることです。人からあいさつをされると、とてもうれしくなるからです。

三つ目は、近くで一回、遠くで一回あいさつをすることです。

あいさつをしたらちいきの人がえがおで、

「おはようございます。」

と、あいさつをかえしてくれただのとでもうれしかったです。

わたしは、大きな声で、自分から、遠くで一回、近くで一回あいさつできてうれしかったです。これからも大きな声で自分から、遠くで一回、近くで一回のあいさつをつづけたいです。



小合中学校

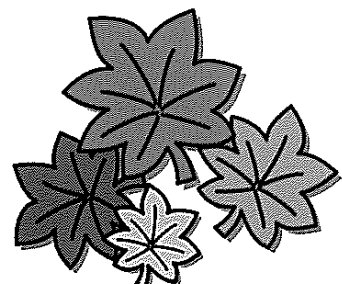
学校生活委員 近藤 大和

小合愛さつ運動を終えて僕は、小合中学校内の朝のあいさつが少しずつよくなつてきていると感じました。

学校生活委員会でも朝、生徒玄関に立つてあいさつをするという活動をしています。この小合愛さつ運動という活動を行うことさらに、僕たち生徒の「あいさつをしよう」という気持ちが高まったと思います。

また、この活動にはたくさんの方が参加してくださっているため、地域の人々と接する機会も増やすことができます。

このようにこの活動で得られることはとてもいいことばかりで、少しずつではありますが確実に小合中学校のあいさつはよくなつてきていると思います。これからも、このような活動を続けていってほしいと思ひます。



敬老会… おじいちゃん、おばあちゃん”ご長寿おめでどうございます”



花東贈呈と参加した最高齢者に記念品の贈呈があり、又式典終了後は参加の皆さんの懇親会を行いました。

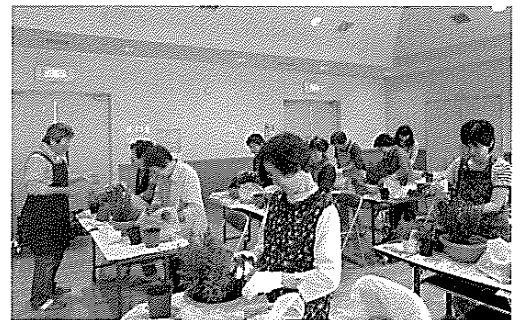
小合地区敬老会
秋晴れの日曜日(十月十二日)に秋葉区長をはじめ多数のご来賓をお迎えして敬老会を開催しました。
最初に四柳コミ協会長から挨拶があり、その後ご来賓からの祝辞をいただきました。秋葉区熊倉区長様からは、秋葉区の百歳以上の人口が増えています、皆さんもどうか頑張ってお言葉がありました。
花東贈呈と参加した最高齢者に記念品の贈呈があり、又式典終了後は参加の皆さんの懇親会を行いました。

新潟日報メディアアシップ「園芸教室」講師の伊藤藤平氏を迎えて、文化教養部主催の第二回花の講座「寄せ植え教室」が、平成二十六年九月二十日午後一時三十分からコミュニティセンター集會室で開催された。参加者は十五人の定員を上回る盛況。
花は、八重咲きアスター、萩、ジブシーディーローズ、キャッツテール、ペアグラス、の五種類。「生け花と同じように、寄せ植えは「奇数」で飾り付け、花だけの中に変化をつけるのが基本」と説明を受け「寄せ植え」がスタート。最初に鉢の奥に背の高いアスターを置く。右に萩を、左にジブシーディーローズ、キャッツテールを鉢からはみ出すように飾り付け、中央にアクセントとしてペアグラスを置く。土を入れて出来上がり。先生がそれぞれのテーブルに回り、バランスのチェック。「こんな簡単に寄せ植えができ、楽しめるなんて」と参加者は自分の飾り付けに大満足。土は鉢のふちに一センチくらいのスペース、水の溜まる空間をつくってやるのがポイントとか。
「長持ちする品種を選んだが、アスターは花が終わったら半分くらいに切っておくとよい。いずれの花も何年も持つものではないので、駄目になったら、別のものに植え換えて楽しんで欲しい。」と伊藤先生は話す。

第二回「花の講座」 寄せ植え教室



懇親会で「四季のにいつ」を踊る、おどろて会の皆さん



「花の講座」・・・寄せ植え教室に取り組む

第39回 9月27日(土) 小合健康ウォーク実施しました。 634m「弥彦山登山」に挑戦



夏も終わろうとする9月末の土曜日8時15分にコミセンに集合し弥彦へと出発しました。

最初に弥彦神社に参拝し、登山口より杉並木を超えて五合目まで登ると視界が開け、恵まれた天候により、蒲原平野の絶景な眺めが実に幻想的でした。

少し急な登りで、きつかったけど、頂上からの眺めが、疲れを癒してくれました。

絶景の山頂で記念写真



★お知らせ★

小合地域一斉

「防災訓練」が行われます。

十一月十六日(日曜)

午前七時三十分から

会場：小合東小学校、小合中学校、小合小学校、各体育館

※各自治会、各町内会指定の第一次避難場所に集合後、近くの(指定)会場へ移動します。

第4回 小合地域 高齢者福祉 輪投げ大会

十一月三十日(日曜)

午前九時～十二時

会場：小合中学校体育館

*参加希望者は1チーム6人で、各自治会長、町内会長さんを通じて申込み下さい。

第2回 福祉お役立ち講座 「笑いヨガ」

笑う門には福来たる、元気で楽しい人生を送りませんか。

十一月二十九日(土曜)

午前十時～十一時三十分

会場：コミセン大ホール

*入場無料です。

お問い合わせは、

「ミ」協事務局まで

電話(25)262699